

弊社強制気化装置アロライザーの停電復帰方法

予め停電が予定されている場合(計画停電)は、事前にLPガス消費機器の燃焼を停止し、器具ガス栓、末端ガス栓及びアロライザーの出口バルブを閉じてください。

| | |
|--|--|
| (1) 小型溜置型10kg/hアロライザー VP-10E |  |
| (2) 小型溜置型20kg/hアロライザー VP-20E |  |
| (3) 中型溜置型 アロライザー VP-30E、VP-50E、VP-100E |  |
| (4) 小型消費型 アロライザー Sタイプ VP-S10E、VP-S30E |  |
| (5) 小型消費型液自搭載 アロライザー VP-KIT10E、VP-KIT30E |  |
| (6) 小型消費型 アロライザー Kタイプ VP-K10ES、VP-K30ES |  |
| (7) 中型消費型 アロライザー Sタイプ VP-S50E、VP-S100E |  |
| (8) 中型消費型 アロライザー EBタイプ VP-S50EB、VP-S100EB |  |
| (9) 中型消費型 アロライザー ECタイプ VP-S50EC、VP-S100EC |  |
| (10) 大型消費型 アロライザー Sタイプ V-200E |  |
| (11) 大型消費型 アロライザー EBタイプ V-200EB |  |
| (12) 大型消費型 アロライザー ECタイプ VP-S150EC、VP-S200EC |  |
| (13) 小型消費型温水循環式 アロライザー VP-S30W |  |
| (14) 大型消費型温水循環式 アロライザー VP-S200WC、VP-S300WC |  |

アロペット 停電後のガス供給停止解除方法

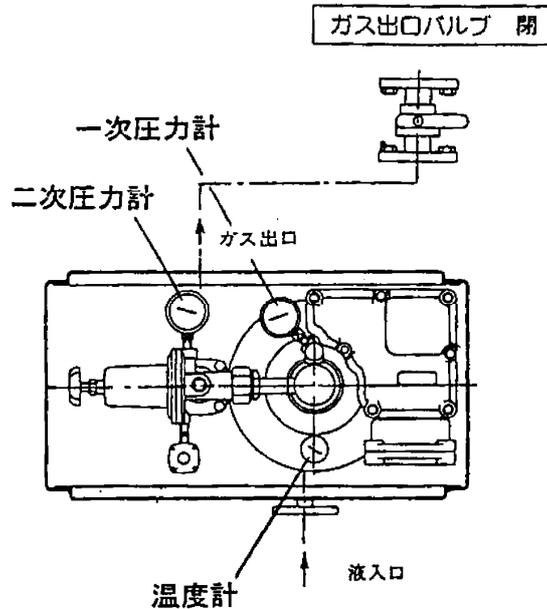
対象機種

VP-10E

点検箇所を確認場所

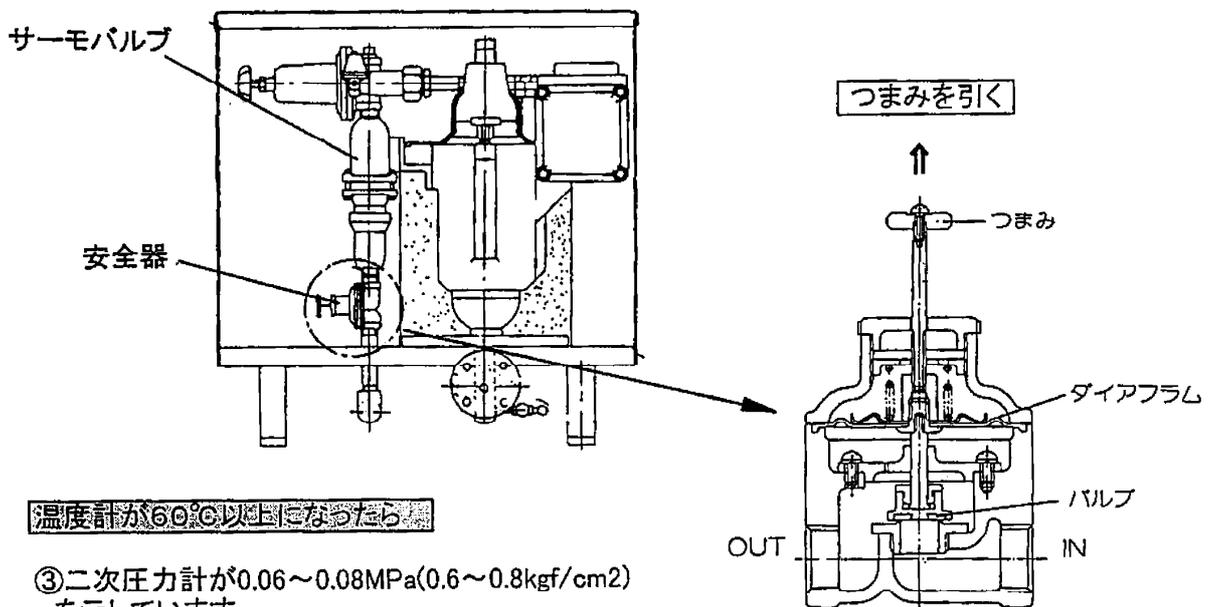
下図の本体の温度計と一次圧力計・二次圧力計を確認ください。

【本体】



①一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

②温度計の表示温度を確認してください。60℃未満の場合は温度計が60℃以上になるまで待ってください。



温度計が60℃以上になったら

③二次圧力計が0.06~0.08MPa(0.6~0.8kgf/cm²)を示しています。
本体の出口にあるガス出口バルブを閉じてください。

④上図の操作にて安全器のつまみを引くと、安全器以降が0.06~0.08MPa(0.6~0.8kgf/cm²)の圧力になり、LPガスの供給が可能になります。
⑤ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロペット 停電後のガス供給停止解除方法

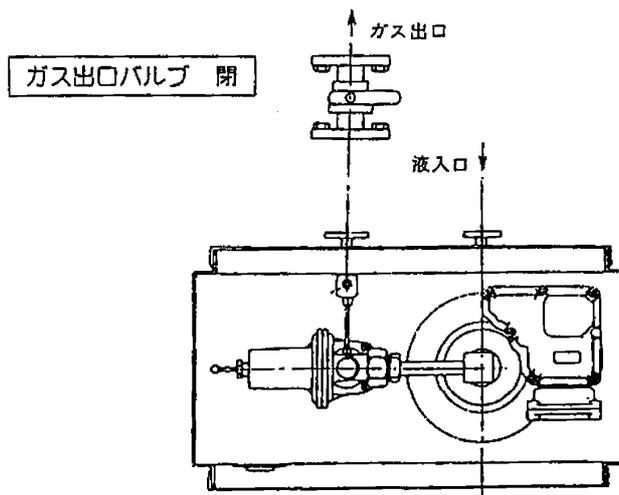
対象機種

VP-20E

点検箇所を確認場所

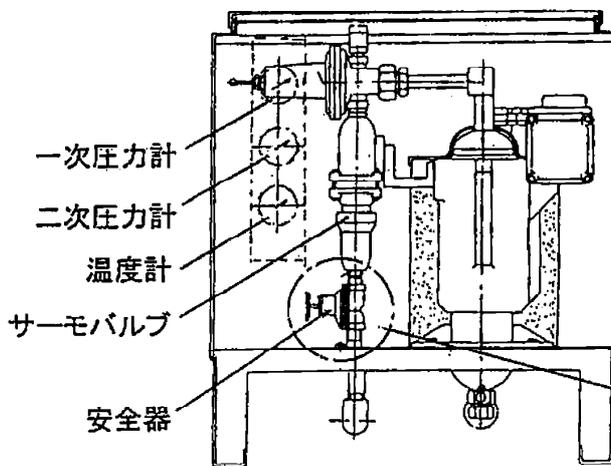
下図の本体の温度計と一次圧力計・二次圧力計を確認ください。

【本体】

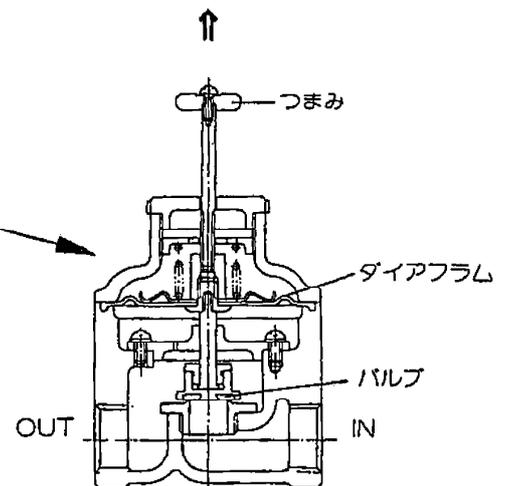


①一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

②温度計の表示温度を確認してください。60℃未満の場合は温度計が60℃以上になるまで待ってください。



つまみを引く



温度計が60℃以上になったら

③二次圧力計が0.06～0.08MPa(0.6～0.8kgf/cm²)を示しています。本体の出口にあるガス出口バルブを閉じてください。

④上図の操作にて安全器のつまみを引くと、安全器以降が0.06～0.08MPa(0.6～0.8 kgf/cm²)の圧力になり、LPガスの供給が可能になります。
⑤ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

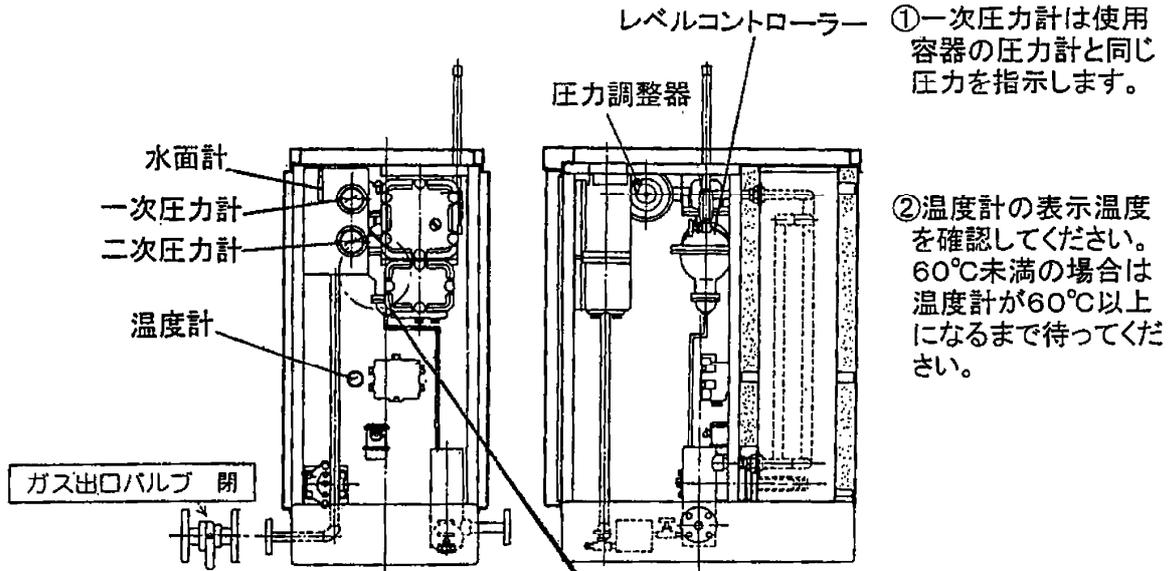
対象機種

VP-30E、VP-50E、VP-100E

点検箇所を確認場所

下図の本体の温度計と一次圧力計・二次圧力計を確認ください。

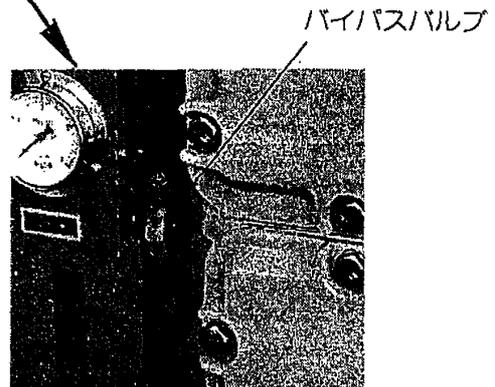
【本体】



温度計が60℃以上になったら

- ③本体の出口にあるガス出口バルブを閉じた後、右図のバイパスバルブを開いてください。二次圧力が復帰します。

バイパスバルブを開く



- ④上図の操作にてバイパスバルブを開くと、二次圧力計が0.06~0.08MPa(0.6~0.8 kgf/cm²)の圧力になります。
- ⑤ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。
- ⑥LPガスが供給できたら、必ずバイパスバルブを閉じてください。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

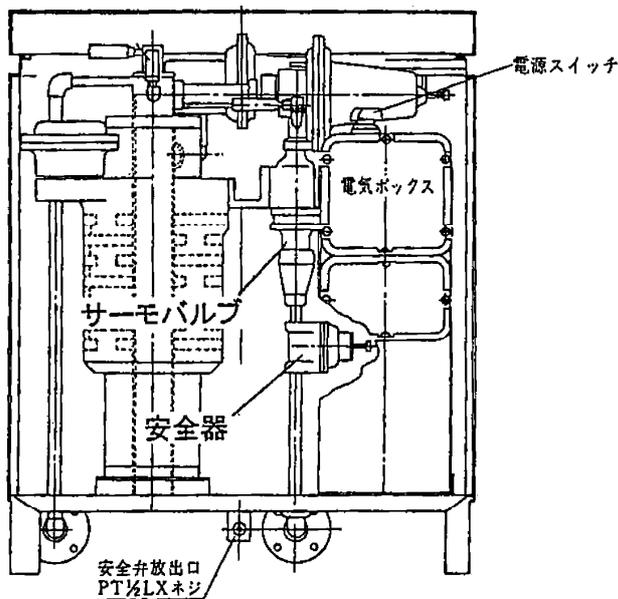
アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種

VP-S10E、VP-S30E

点検箇所を確認場所

下図の本体の温度計と一次圧力計・二次圧力計・三次圧力計を確認してください。
【本体】

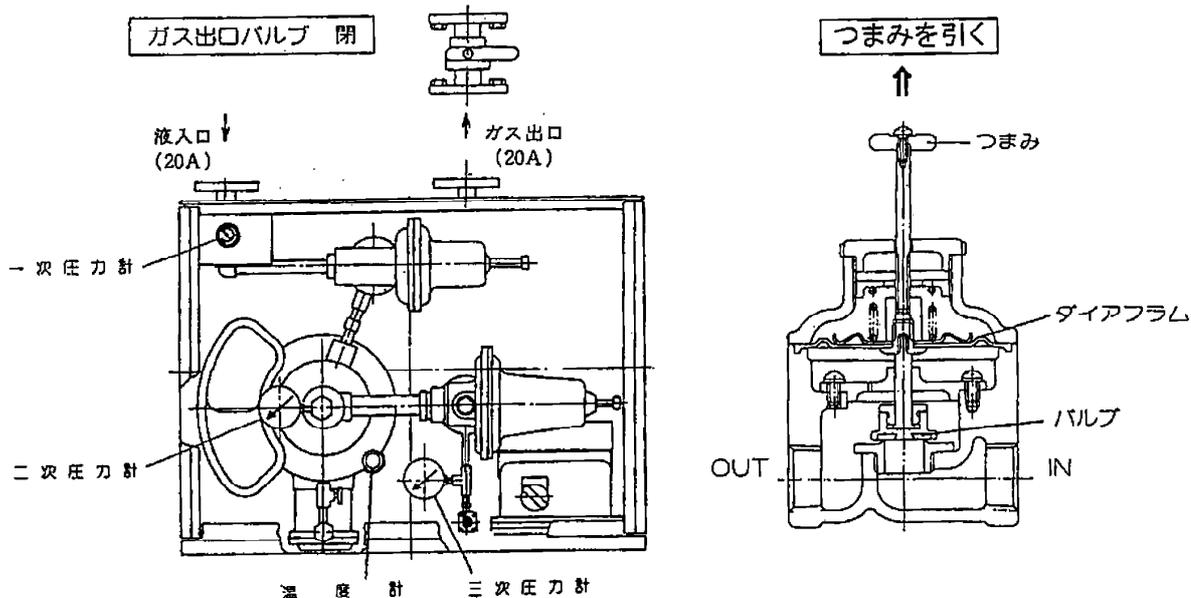


①一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

②温度計の表示温度を確認してください。60℃未満の場合は温度計が60℃以上になるまで待ってください。

温度計が60℃以上になったら

③二次圧力計が0.14～0.49MPa(1.4～4.9kgf/cm²)を示しています。三次圧力計が0.06～0.08MPa(0.6～0.8kgf/cm²)を示しています。本体の出口にあるガス出口バルブを閉じてください。



④上図の操作にて安全器をつまみを引くと、安全器以降が0.06～0.08MPa(0.6～0.8kgf/cm²)の三次圧力になり、LPガスの供給が可能になります。
⑤ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡を願います。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

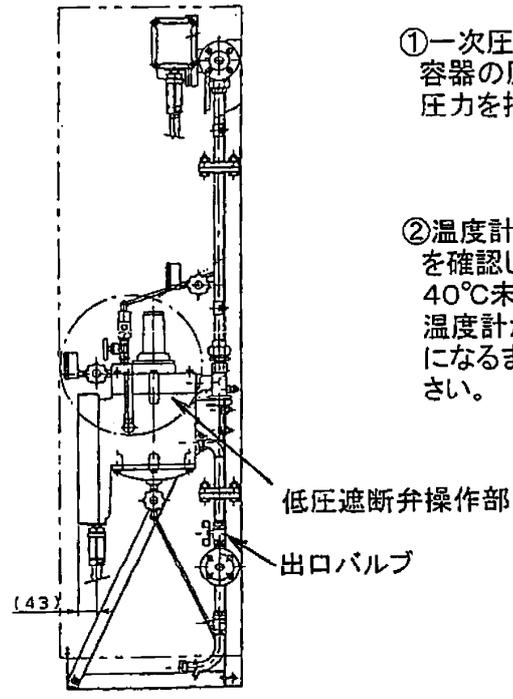
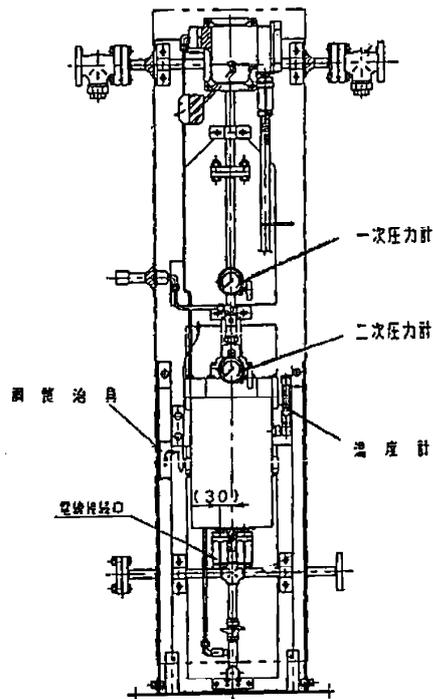
対象機種

VP-KIT10E、VP-KIT30E

点検箇所を確認場所

下図の本体の温度計と一次圧力計・二次圧力計を確認してください。

【本体】

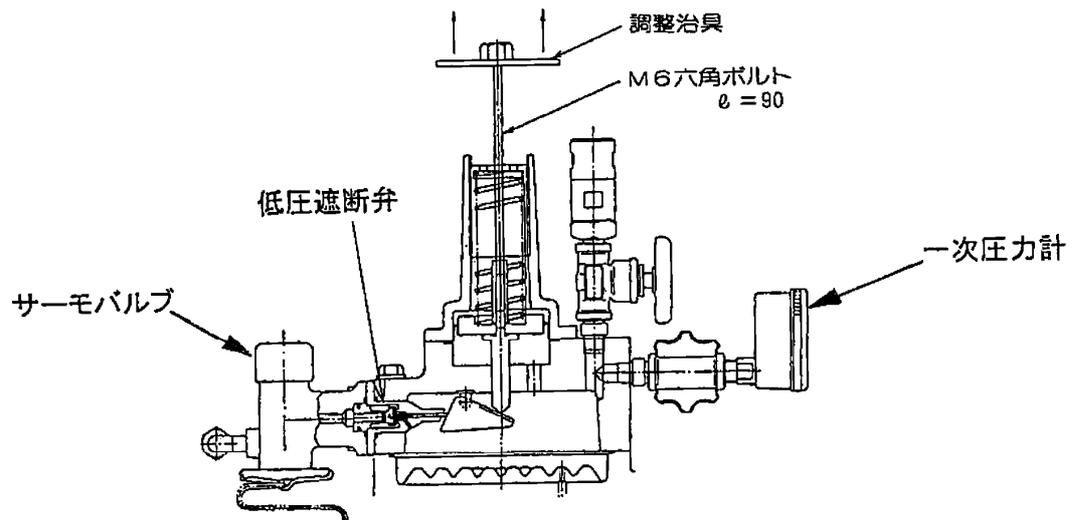


①一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

②温度計の表示温度を確認してください。40℃未満の場合は温度計が40℃以上になるまで待ってください。

温度計が40℃以上になったら

③本体内蔵の出口バルブを閉じた後、低圧遮断弁の操作にて二次圧力の復帰を行ってください。



- ④上図の操作にて低圧遮断弁を引き上げると二次圧力計が0.09～0.12MPa(0.9～1.2 kgf/cm²)の圧力になります。
- ⑤二次圧力計が上記圧力になると、調整治具を外しキャップを閉じてください。
- ⑥出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡を願います。

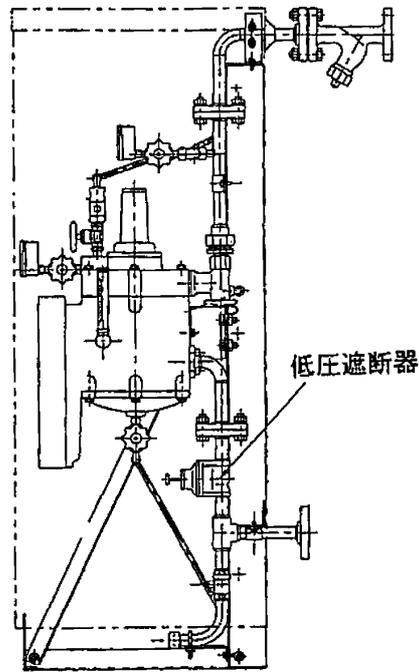
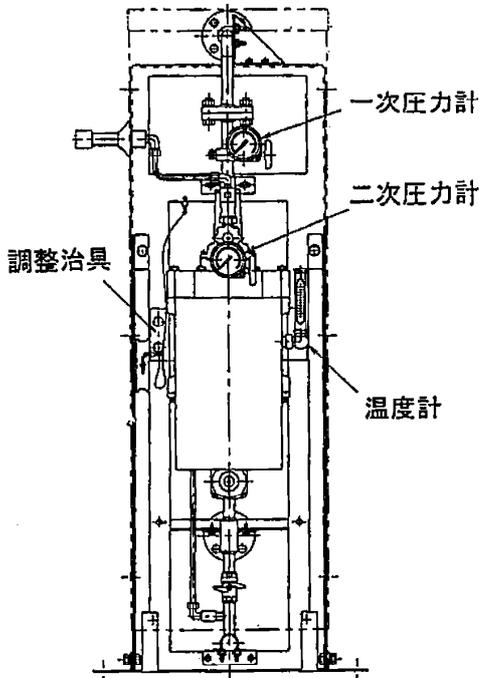
アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種

VP-K10ES、VP-K30ES

点検箇所を確認場所

下図の本体の温度計と一次圧力計・二次圧力計を確認ください。
【本体】

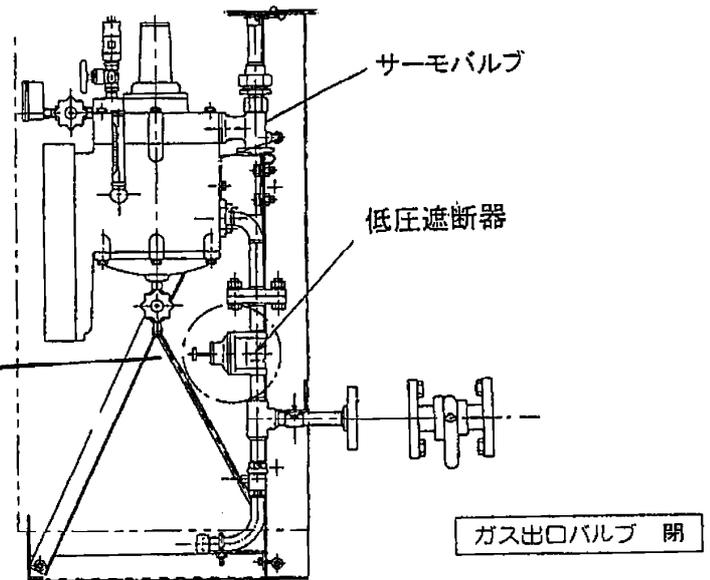
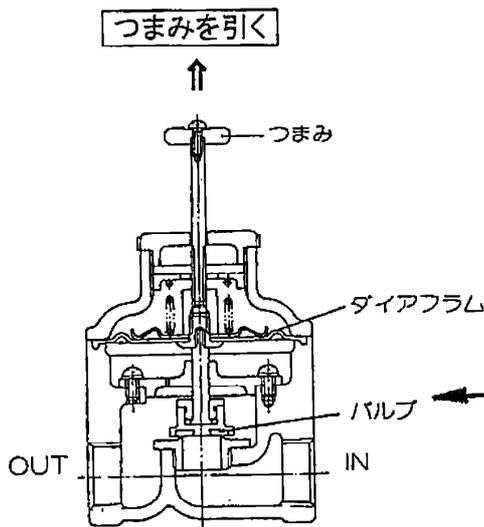


①一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

②温度計の表示温度を確認してください。40℃未満の場合は温度計が40℃以上になるまで待ってください。

温度計が40℃以上になったら

③二次圧力計が0.14~0.2MPa(1.4~2.0kgf/cm²)を示します。本体の出口にあるガス出口バルブを閉じてください。



④上図の操作にて低圧遮断器のつまみを引くと、低圧遮断器以降の圧力が二次圧力計の0.14~0.2MPa(1.4~2.0kgf/cm²)になり、LPガス供給が可能になります。
⑤ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体附属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種

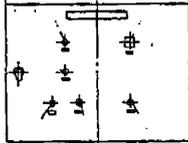
VP-S50E、VP-S100E

点検箇所を確認場所

下図の制御盤と本体の温度計・圧力計を確認してください。

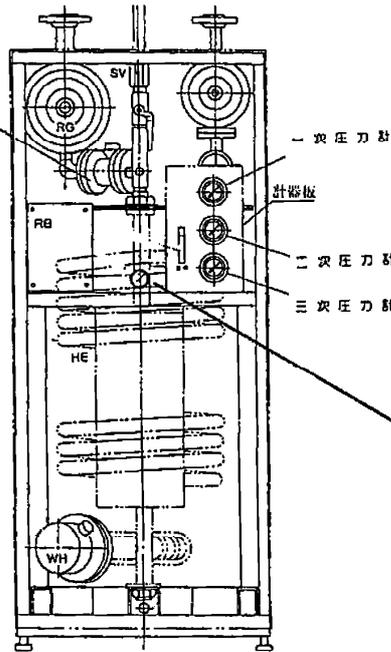
【制御盤】

【本体】



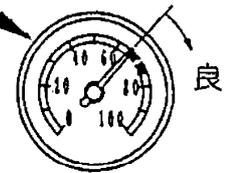
①電源表示灯が点灯していることを確認してください。

サーモバルブ



②一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

③温度計の表示温度を確認してください。65℃未満の場合は温度計が65℃以上になるまで待ってください。

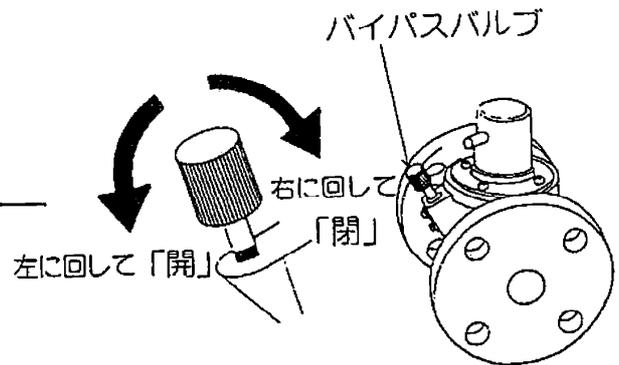
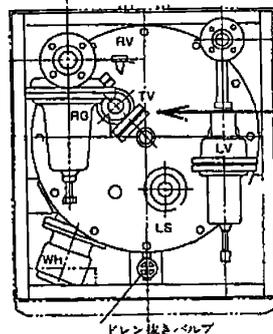
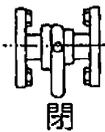


温度計

温度計が65℃以上になったら

④本体の出口にあるバルブを閉じた後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。

例：ボールバルブ



- ⑤二次圧力計は0.14～0.49MPa(1.4～4.9 kgf/cm²)を示しています。サーモバルブのバイパスバルブを開けますと、三次圧力計は0.06～0.08MPa(0.6～0.8kgf/cm²)になります。
- ⑥三次圧力計が上記圧力になりますとサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。
- ⑦出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

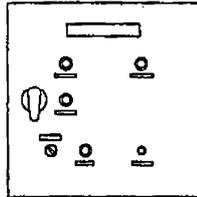
※詳しくは本体附属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種 VP-S50EB、VP-S100EB

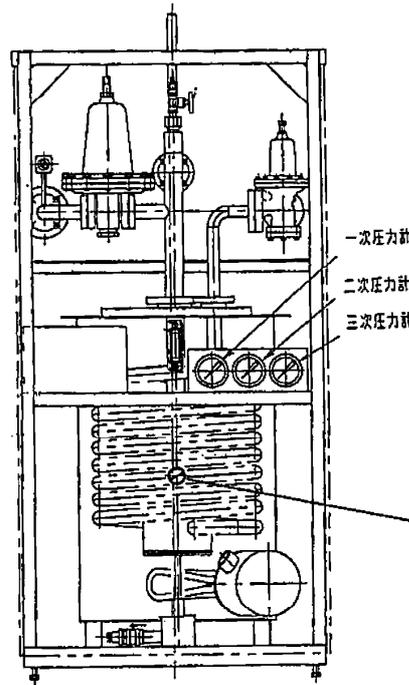
点検箇所を確認場所 下図の制御盤と本体の温度計・圧力計を確認してください。

【制御盤】



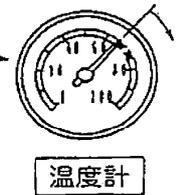
① 運転表示灯が点灯していることを確認してください。

【本体】



② 一次圧力計は使用容器の圧力計と異なり0MPaの圧力を指示します。

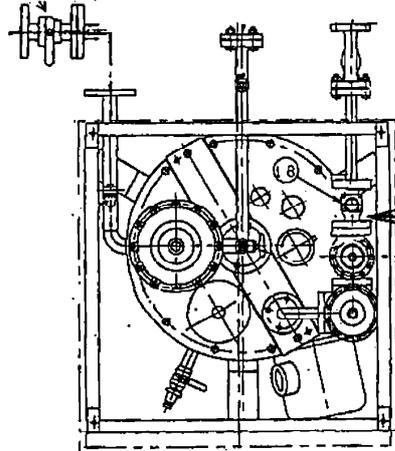
③ 温度計の表示温度を確認してください。65℃未満の場合は温度計が65℃以上になるまで待ってください。



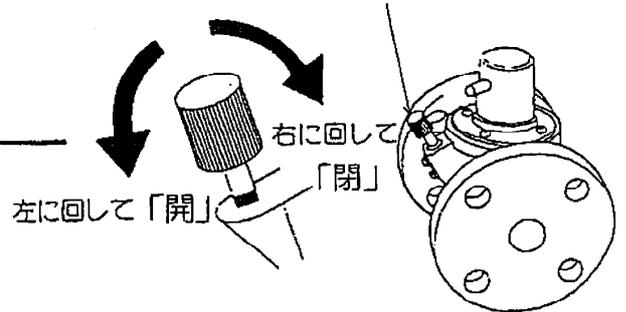
温度計が65℃以上になったら

④ 本体の出口にあるガス出口バルブを閉じた後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。

ガス出口バルブ 閉



⑮ バイパスバルブ



- ⑤ サーモバルブのバイパスバルブを開けると二次圧力計が0.14～0.49MPa(1.4～4.9 kgf/cm²) 三次圧力計は0.06～0.08MPa(0.6～0.8Kgf/cm²)になります。
- ⑥ 三次圧力計が上記圧力になりますとサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。
- ⑦ ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

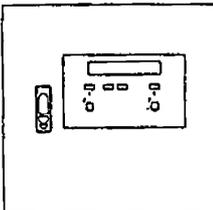
対象機種

VP-S50EC、VP-S100EC

点検箇所を確認場所

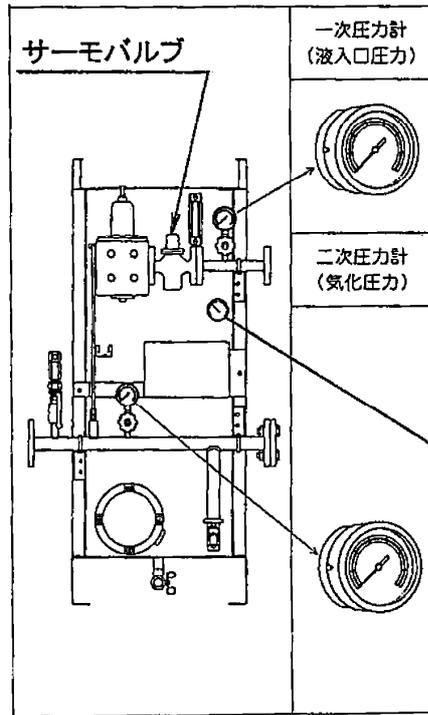
下図の制御盤と本体の温度計・圧力計を確認してください。

【制御盤】



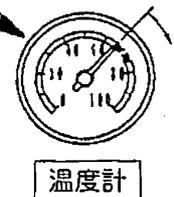
① 運転表示灯が点灯していることを確認してください。

【本体】



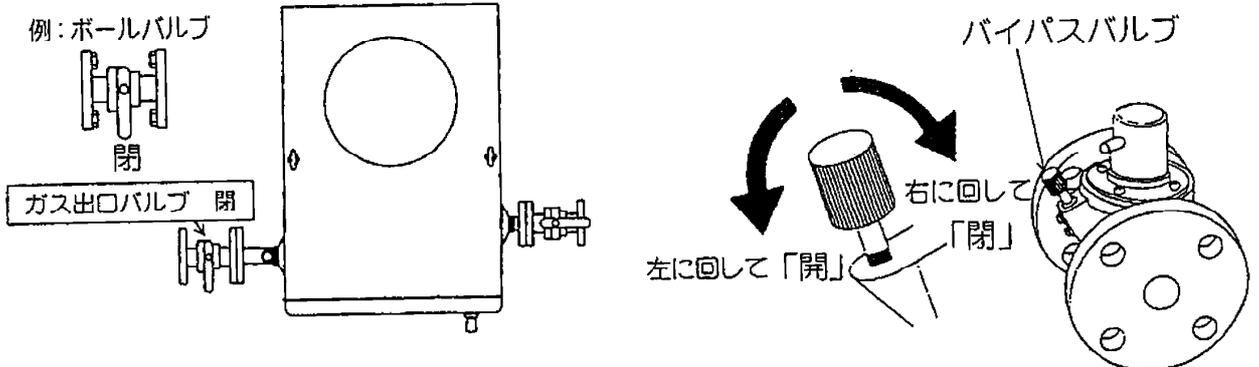
② 一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

③ 温度計の表示温度を確認してください。60℃以下の場合は温度計が60℃以上になるまで待ってください。



温度計が65℃以上になったら

④ 本体の出口にあるガス出口バルブを閉じた後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。



- ⑤ サーマバルブのバイパスバルブを開けると二次圧力計が0.14～0.49MPaになります。
- ⑥ 二次圧力計が上記圧力になりますとサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。
- ⑦ ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡を願います。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

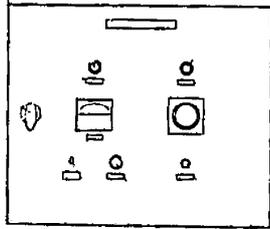
対象機種

V-200E

点検箇所を確認場所

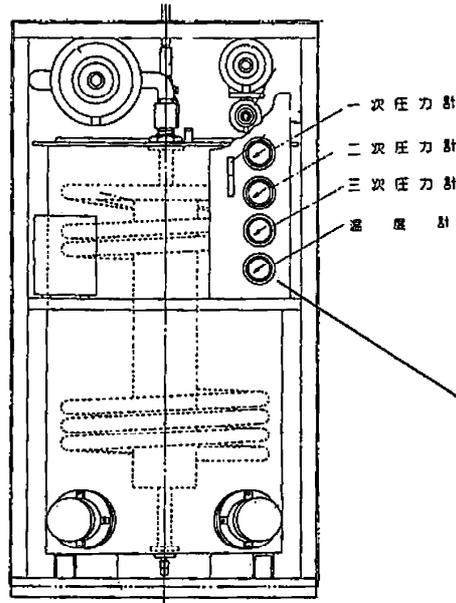
下図の制御盤と本体の温度計・圧力計を確認してください。

【制御盤】



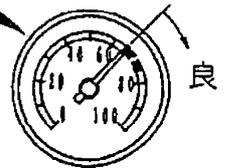
①電源表示灯が点灯していることを確認してください。

【本体】



②一次圧力計は使用容器の圧力計と異なり0MPaの圧力を指示します。

③温度計の表示温度を確認してください。65℃未満の場合は温度計が65℃以上になるまで待ってください。

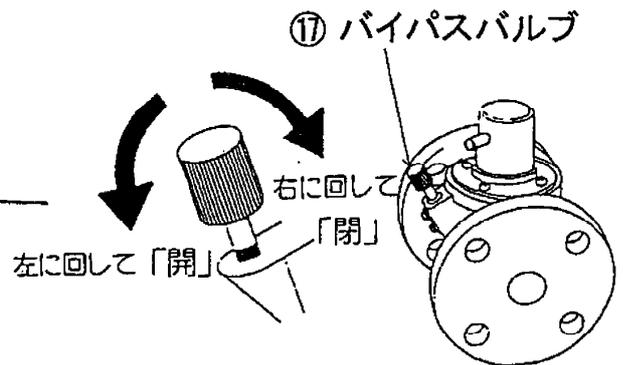
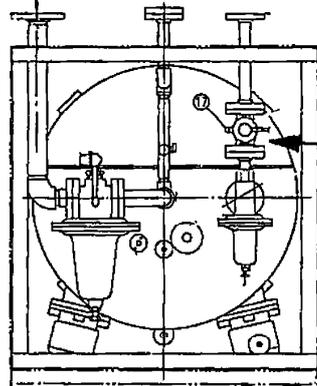
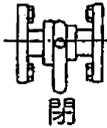


温度計

温度計が65℃以上になったら

④本体の出口にあるバルブを閉じた後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。

例：ボールバルブ



⑦ バイパスバルブ

右に回して「閉」
左に回して「開」

⑤サーモバルブのバイパスバルブを開けると二次圧力計が0.14～0.49MPa(1.4～4.9 kgf/cm²) 三次圧力計は0.06～0.08MPa(0.6～0.8Kgf/cm²)になります。

⑥三次圧力計が上記圧力になりますとサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。

⑦出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体附属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種

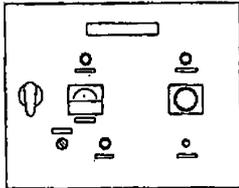
V-S200EB

点検箇所を確認場所

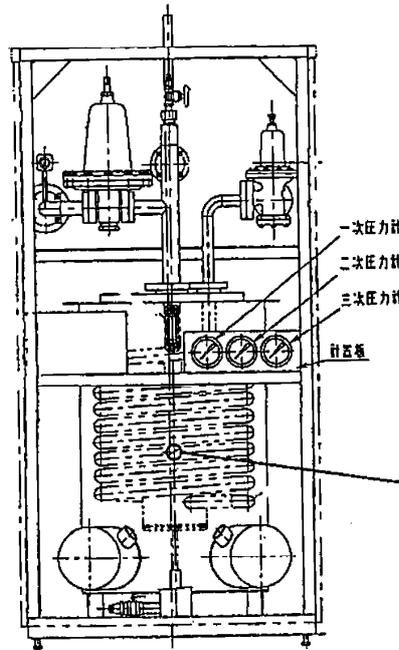
下図の制御盤と本体の温度計・圧力計を確認してください。

【制御盤】

【本体】

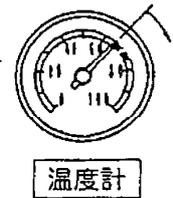


① 運転表示灯が点灯していることを確認してください。



② 一次圧力計は使用容器の圧力計と異なり0MPaの圧力を指示します。

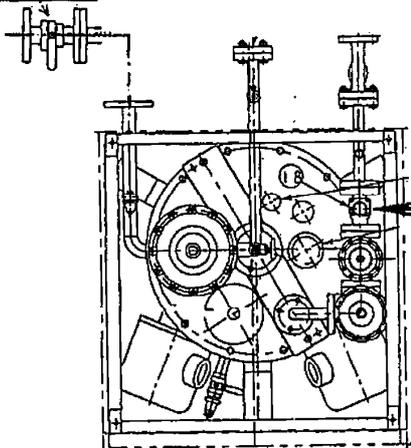
③ 温度計の表示温度を確認してください。65℃未満の場合は温度計が65℃以上になるまで待ってください。



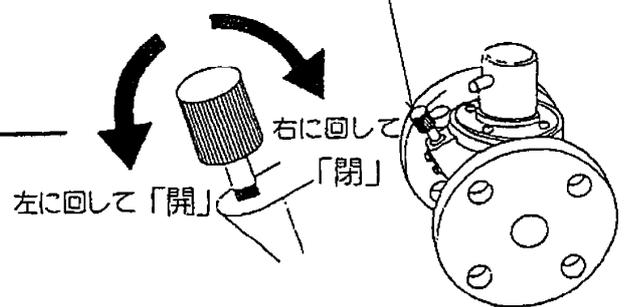
温度計が65℃以上になったら

④ 本体の出口にあるガス出口バルブを閉じた後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。

ガス出口バルブ 閉



⑮ バイパスバルブ



- ⑤ サーモバルブのバイパスバルブを開けると二次圧力計が0.14~0.49MPa(1.4~4.9 kgf/cm²) 三次圧力計は0.06~0.08MPa(0.6~0.8Kgf/cm²)になります。
- ⑥ 三次圧力計が上記圧力になりますとサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。
- ⑦ ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給出来ます。

※詳しくは本体附属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店に連絡をお願いします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

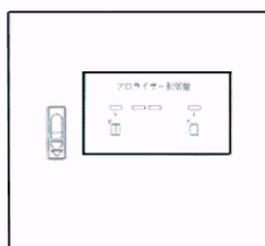
対象機種

VP-S150EC、VP-S200EC

点検・確認箇所

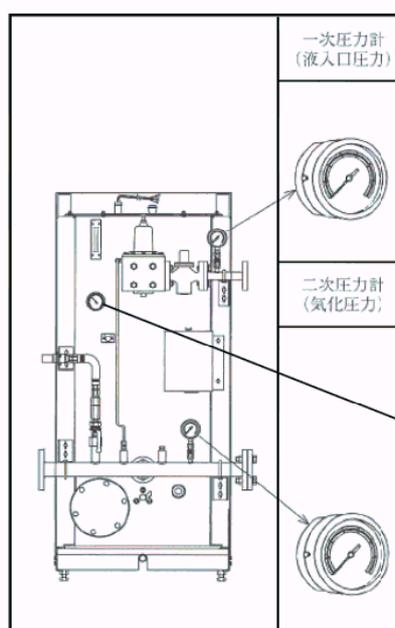
下図の制御盤と本体の温度計・圧力計を確認してください。

【制御盤】



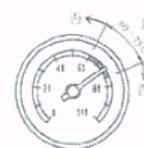
① 運転表示灯が点灯していることを確認してください。

【本体】



② 一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

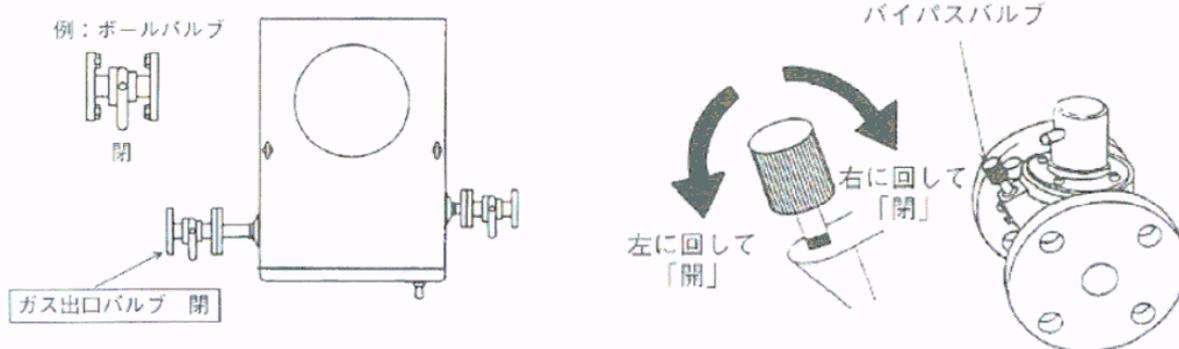
③ 温度計の表示温度を確認してください。60℃以下の場合、温度計が60℃以上になるまで待ってください。



温度計

温度計が60℃以上になったら

④ 本体の出口にあるガス出口バルブが閉じていることを確認後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。



- ⑤ サーモバルブのバイパスバルブを開けると二次圧力計が0.14～0.49MPaになります。
- ⑥ 二次圧力計が上記圧力になりましたらサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。
- ⑦ ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給できます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店にご連絡をお願いいたします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種

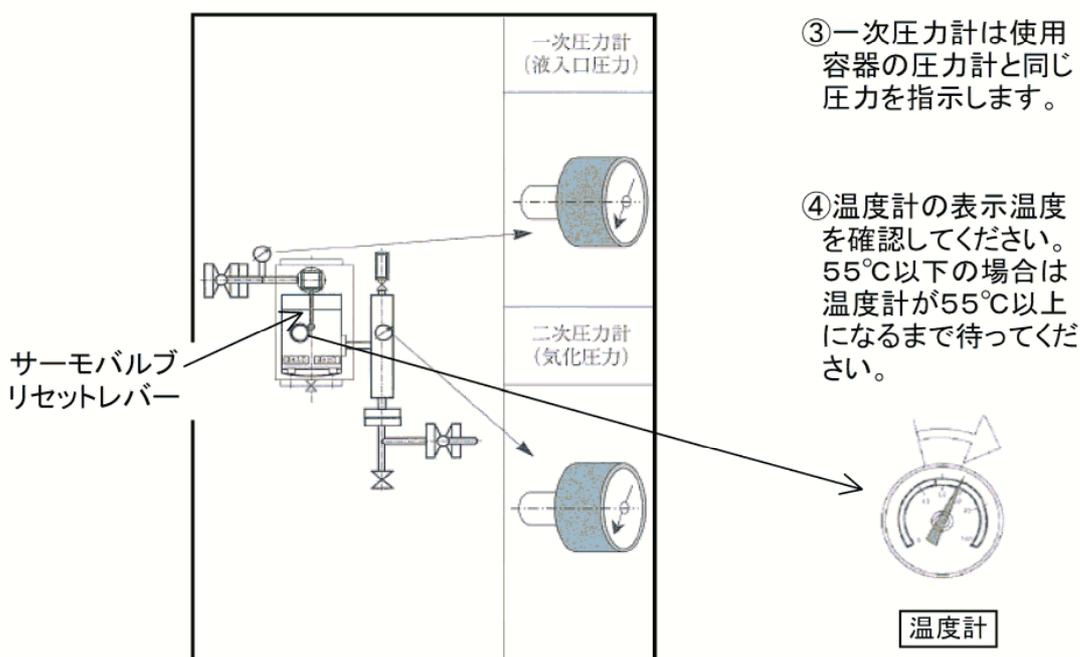
VP-S30W

点検・確認箇所

- ①熱源機を運転状態にしてください。
※リモコンによる温度設定熱源機の場合は電源スイッチをONしてください。
- ②熱源機の温水循環ポンプが運転状態であることを音により確認してください。

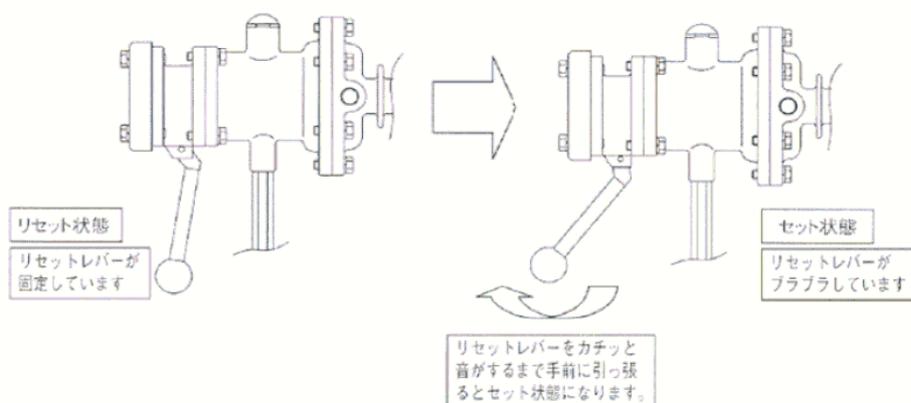
下図のアロライザー本体の温度計・圧力計を確認してください。

【本体】



温度計が55℃以上になったら

- ⑤本体の出口にあるガス出口バルブが閉じていることを確認後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。



- ⑥サーモバルブのリセットレバーを手前に引っ張りセット状態とすると二次圧力計が0.14~0.77MPaになります。
- ⑦ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給できます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店にご連絡をお願いいたします。

アロライザー 停電後のガス供給停止解除方法

対象機種

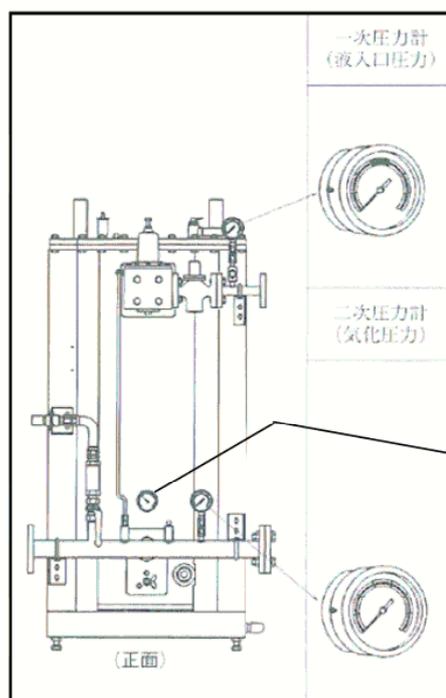
VP-S200WC、VP-S300WC

点検・確認箇所

- ①温水ボイラーを運転状態にしてください。
- ②温水循環ポンプが運転状態であることを確認してください。

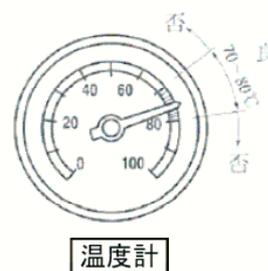
下図のアロライザー本体の温度計・圧力計を確認してください。

【本体】



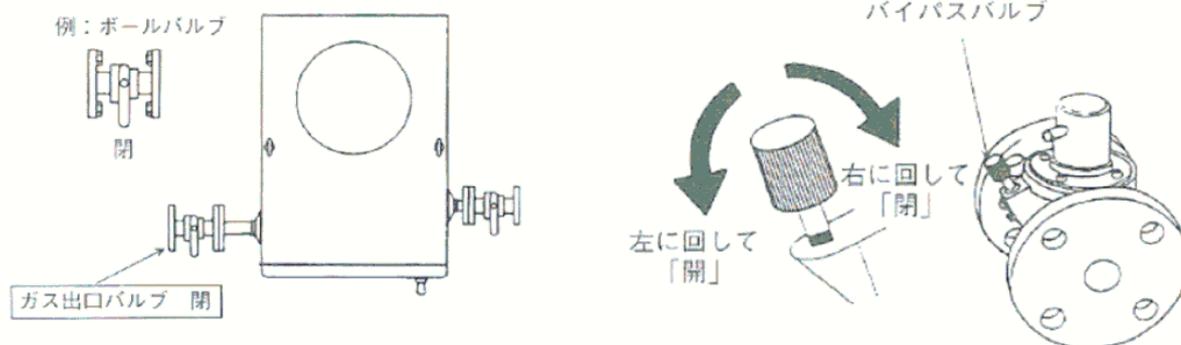
③一次圧力計は使用容器の圧力計と同じ圧力を指示します。

④温度計の表示温度を確認してください。70℃以下の場合は温度計が70℃以上になるまで待ってください。



温度計が70℃以上になったら

⑤本体の出口にあるガス出口バルブが閉じていることを確認後、下図のサーモバルブの操作を行ってください。



- ⑥サーモバルブのバイパスバルブを開けると二次圧力計が0.15~0.5MPaになります。
- ⑦二次圧力計が上記圧力になりましたらサーモバルブのバイパスバルブを必ず閉じてください。
- ⑧ガス出口バルブをゆっくり開いてください。LPガスが供給できます。

※詳しくは本体付属の取扱説明書を参照し、操作を行ってください。尚、処置が不明な場合はLPガス供給業者又は担当のサービス指定店にご連絡をお願いいたします。